研修員手当の号の適用に関する規則の一部を改正する省令

研修員手当の号の適用に関する規則（昭和四十四年外務省令第八号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

改正後

別表（第一条関係）

一　大使館

区分＼号別／月額		［略］	76号	77号	［略］	87号	88号	89号	90号	91号	92号	93号	94号	95号	96号	97号	98号	［略］
			円	円		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
			540,700	529,700		419,700	408,700	397,700	386,700	375,700	364,700	353,700	342,700	331,700	320,700	309,700	298,700	
国地の別	アジア					ミャンマー	ネパール		インド モルディブ モンゴル	中華人民共和国	シンガポール	カンボジア		ラオス	スリランカ	ブルネイ	タイ 大韓民国	
	大洋州								トンガ ミクロネシア	パラオ		サモア		パヌアツ			フィジー	
	北米										アメリカ合衆国						カナダ	
	中南米					ニカラグア バルバドス	グアテマラ	ドミニカ共和国 メキシコ	エルサルバドル	コロンビア	ウルグアイ エクアドル	コスタリカ ジャマイカ トリニダード・トバゴ ペルー	アルゼンチン ブラジル	チリ	パラグアイ	パナマ		
	欧州									アルバニア	カザフスタン ジョージア ノルウェー ラトビア	チェコ デンマーク ベラルーシ モルドバ	アルメニア 英国 オーストリア キルギス ロシア	フィンランド リトアニア	オランダ	アゼルバイジャン ウズベキスタン スウェーデン ドイツ フランス ベルギー ルクセンブルク	アイルランド イタリア エストニア スペイン スロバキア セルビア バチカン	
	中東		イラク			イラン		シリア	イスラエル		クウェート		カタール ヨルダン	アラブ首長国連邦 オマーン バーレーン				
	アフリカ		ジブチ	ブルキナファソ マリ		ウガンダ		アルジェリア	ケニア	ザンビア ボツワナ	ナミビア モーリシャス			南アフリカ共和国	セーシェル	エジプト	チュニジア モロッコ	

※　在外公館名称位置給与法第十条により、在勤基本手当の月額が基準額の100分の75から100分の125の範囲内で政令で定められる額であるところ、研修員手当についても100分の75から100分の125の範囲内の変動を勘案した号の設定が必要となる。

改正前

別表（第一条関係）

一　大使館

区分＼号別／月額		［同上］	76号	77号	［同上］	87号	88号	89号	90号	91号	92号	93号	94号	95号	96号	97号	98号	［同上］
			円	円		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
			540,700	529,700		419,700	408,700	397,700	386,700	375,700	364,700	353,700	342,700	331,700	320,700	309,700	298,700	
国地の別	アジア						ネパール ミャンマー		インド モルディブ	中華人民共和国	モンゴル	カンボジア	シンガポール	ラオス	スリランカ		タイ 大韓民国 ブルネイ	
	大洋州								トンガ ミクロネシア	パラオ		サモア		パヌアツ			フィジー	
	北米										アメリカ合衆国						カナダ	
	中南米					ニカラグア バルバドス	グアテマラ	ドミニカ共和国 メキシコ	エルサルバドル		ウルグアイ エクアドル コロンビア	コスタリカ ジャマイカ トリニダード・トバゴ ペルー	アルゼンチン	チリ	パラグアイ ブラジル	パナマ		
	欧州									アルバニア	カザフスタン ジョージア ノルウェー ラトビア	チェコ デンマーク ベラルーシ モルドバ	アルメニア 英国 オーストリア キルギス ロシア	フィンランド リトアニア	オランダ	アゼルバイジャン ウズベキスタン スウェーデン ドイツ フランス ベルギー ルクセンブルク	アイルランド イタリア エストニア スペイン スロバキア セルビア バチカン	
	中東		イラク			イラン		シリア	イスラエル		クウェート		カタール ヨルダン	アラブ首長国連邦 オマーン バーレーン				
	アフリカ		ジブチ	ブルキナファソ マリ		ウガンダ			アルジェリア ケニア	ザンビア ボツワナ	モーリシャス	ナミビア				エジプト 南アフリカ共和国	チュニジア モロッコ	

※　在外公館名称位置給与法第十条により、在勤基本手当の月額が基準額の100分の75から100分の125の範囲内で政令で定められる額であるところ、研修員手当についても100分の75から100分の125の範囲内の変動を勘案した号の設定が必要となる。

改正前